

海燕社

の小さな

映画会 2024

10/6 (日) 14:00~

沖縄県立博物館 美術館 講堂(3F)

受付 13:15 開場 13:30 料金 1,200円(予約制) 当日1,500円
予約(海燕社) ☎ 098-850-8485 / ✉ mail@kaiensha.jp

※小中高校生は先着10名まで無料

九州・沖縄から

文化力

POWER OF CULTURE
後援: 沖縄県 那覇市



予約用QR



©2008 Nonaka Mariko Office

沖縄初上映

オトナは、忘れてしまっている。

こどもの時間

監督 野中真理子 / 2001年 / 80分

語り イッセー尾形

出演 いなほ保育園のみなさん

「人生のはじまりの時間」を見つめた キッズ・ストーリー

この映画の主人公は、埼玉県にある保育園に通う子どもたち。畑や林もある4000坪の土地で、0歳から6歳までおよそ100人の子どもたちが、大人と、山羊や馬と、火や水とともに暮らしています。食べる。眠る。走る。遊ぶ... 子どもがこどもの仕事に一生懸命なその瞬間、小さな体の内側で大きな物語がはじまります。

そんな「人生のはじまりの時間」をどうぞ一緒にください。あなたの体の奥にある大切な記憶と、きっとめぐり逢うはずです。

野中真理子(「こどもの時間」監督)

「汚さないで」「やめてちょうだい」「早くして」というさい自分の口にチャックをするために。おとなとは違う「こどもの時間」を生きている、彼らの思いを見逃さない母親になるために。この映画をつくりました。

本木雅弘(俳優)

裸足で踏む土、踊る水、つかむ風、季節の音。桶川出身の自分さえ、捨ててしまった記憶の数々がスクリーンに蘇る。誰もががさずかった輝かしい生命力を、最大限に披露することも達。その力をたくましく支えるおとな達。それぞれの眼差しと姿勢に何度も魅せられ、考える。そのすべてが、未来的な映像です。きっと、3001年を生きる人々のココロにも、新鮮な揺さぶりをかけるでしょう。親になった現在(いま)、ハッと思い出したように好奇心を失った大人になってはいけない!...と自分を叱りつけています。

坂田明(ミュージシャン)

あったぞ!「こどもの時間」が。ボクらが終戦直後に体験した「こどもの時間」がよみがえってきた。そうだ!絶滅していると思っていたニッポンカワウンを発見したときの気持ち。「いたぞオーッおい、いたよ、いたぜ、まったく参ったなあ、アハハハハ、よかったなあ生きてたよ」と言って、しまいには涙声になる、そんな喜びというのかなあ。とにかく皆さん、この映画は楽しい。こどもが凄い。「いなほ保育園」を運営している大人が凄い。そして自然の風景が凄い。あの、保育園の建物は何もの凄いよ。あんなルーズな建物見たこともない。呆れる程素晴らしい。笑っちゃうよ。皆さん、観てるとギョーッ!となります。ヒヤヒヤします。でも、こどもは大丈夫なのです。この映画の最後の音は、なんと昼寝中のこどものイビキなのです。ヤッホーッ!



©2008 Nonaka Mariko Office



©2008 Nonaka Mariko Office



©2008 Nonaka Mariko Office



©2008 Nonaka Mariko Office

上映作品、上映日は都合により変更することがあります。詳細は、海燕社のウェブサイト (<http://www.kaiensha.jp>) や SNS にてご確認ください。

古書店 うみつばめ

本の問合せ ☎ 098(850)8485 / メール k.umitubame@gmail.com

海燕社のウェブ古書店うみつばめ。年中無休で開店しています。こだわりは、画家 石垣克子デザイン、オリジナルブックカバー(単行本・新書・文庫本)とオリジナルしおり(3種類)です。いずれかをご購入の本におつけします。本棚には千冊以上の本が並びました。是非一度お立ち寄りください。



ウェブ古書店